

令和4年度
足立区行政評価
③

重点プロジェクト事業
一般事務事業
【令和3年度事業実施分】
～PDCAサイクルの取組状況～

政策経営部 政策経営課・財政課



足立区は令和4年5月20日にSDGs未来都市に指定されました。

令和4年度の区民評価について

令和4年度の区民評価委員会は、4月22日の第1回全体会を皮切りに、事業評価に向けて準備を進めていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大（第7波）に伴い、足立区役所全庁を挙げて保健所への応援体制を構築する必要が生じました。保健所への応援体制は、「区民評価委員会の事務局職員」に限らず、「評価を受ける事業所管課の担当職員」も含めて構築する必要があり、さらに感染状況も先行きが見えない状況であったため、評価活動のスケジュールを調整することは困難を極めました。

そのため、区と協議の結果、平成17年度の区民評価委員会発足後、初めて評価活動を中止する判断をしました。

当委員会としては、事業評価ヒアリングの直前まで準備を進めていたにも関わらず中止の判断に至った点について、非常に残念でしたが、区民の生命と健康を守るためにはやむを得ない判断であったと考えています。

なお、重点プロジェクト事業については、評価に必要な資料を委員が受領し、ヒアリング直前まで準備を進めていたため、各委員が任意で意見・提言を区に提出することとしました。

一方、区民評価は実施しなかったものの、「庁内評価の結果」や「委員からの意見・提言」を踏まえたPDCAサイクルにおける取り組みについて、区より報告書が提出されました。

多くの自治体で行政評価制度の見直し・縮小が行われる中、区の重要施策としてPDCAサイクルによる事業改善に取り組む区の不断の姿勢について、改めて敬意を表したいと思います。

また、令和4年度は区制90周年を迎える節目の年でした。その周年事業の一環として、「区政のこれまでの10年、これからの10年を語り合う」をテーマに、区民評価委員会OB・OG委員と区長による、パネルディスカッションが実現しました。評価活動は、区の課題に限らず「強み」や「魅力」に触れる機会も多く、委員が区に対する想いを深める場としての役割も果たしています。委員の任期は2年ですが、退任後も、「評価活動の経験」や「区への想い」を活かして区政に貢献できることが多くあると思います。今後も、様々な機会を捉えて、このような企画を実施していただきたいと思います。

区民評価委員会としても、令和5年度の評価活動に向けて準備を進め、区との協働・協創により区政改革を支えるエンジンの一翼として、評価活動を継続していきたいと考えています。

足立区区民評価委員会

会長 藤後 悦子

| | | |
|----------------------|---|-----|
| Section 1 | はじめに | 1 |
| Section 2 | 行政評価の概要 | 1 |
| Section 3 | 令和4年度の重点プロジェクト事業と 選定された事務事業の取り扱い | 3 |
| Section 4 | 重点プロジェクト事業と一般事務事業の評価の視点の違い | 3 |
| Section 5 | 重点プロジェクト事業の庁内評価結果について | 4 |
| Section 6 | 重点プロジェクト事業の成果指標の達成率について | 5 |
| Section 7 | 重点プロジェクト事業 事業別評価調書 | 14 |
| Section 8 | 一般事務事業事業 事業別評価調書 | 106 |
| Section 9 | 令和4年度 区民評価委員会委員からの意見・提言 ～重点プロジェクト事業～ | 138 |
| Section 10 | 令和3年度 分科会別重点プロジェクト事業に関する 提言の対応状況 | 142 |

Section 1

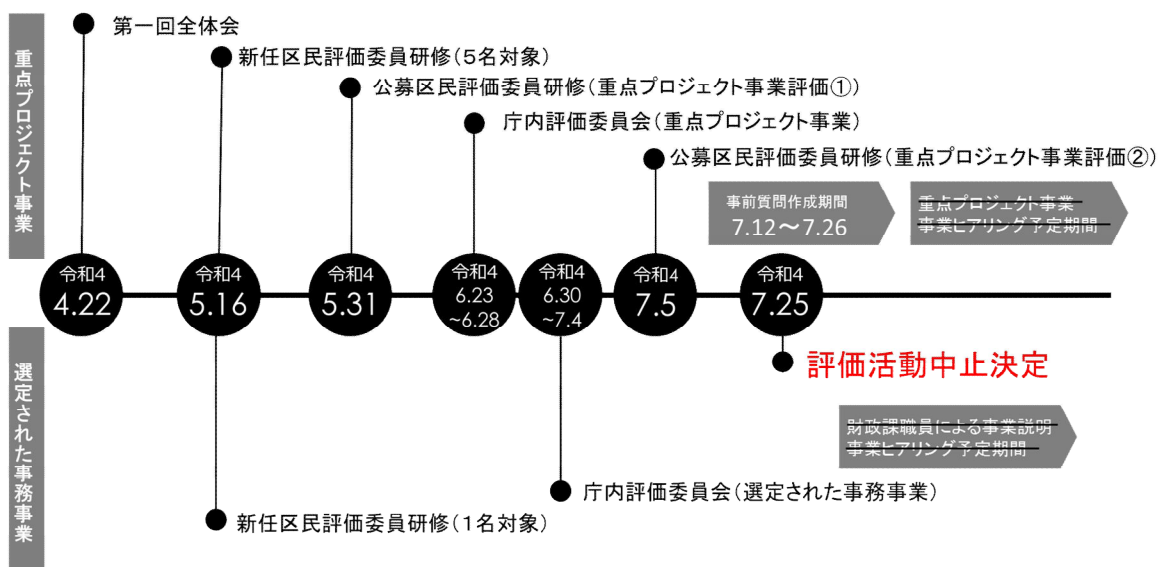
はじめに

足立区では、行政評価の客観性を高め、区政の透明化と区政経営の改革・改善を進めることを目指し、平成17年度より公募による区民委員と学識経験者からなる足立区区民評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置しました。

今年度の評価委員会の評価活動は、新型コロナウイルス感染症に足立区役所全庁を挙げて対応するため、平成17年度の発足以降、初めて活動を中止することとなりました。

なお、中止に至るまでの経過は以下のとおりです。

●令和4年度 区民評価委員会活動スケジュール



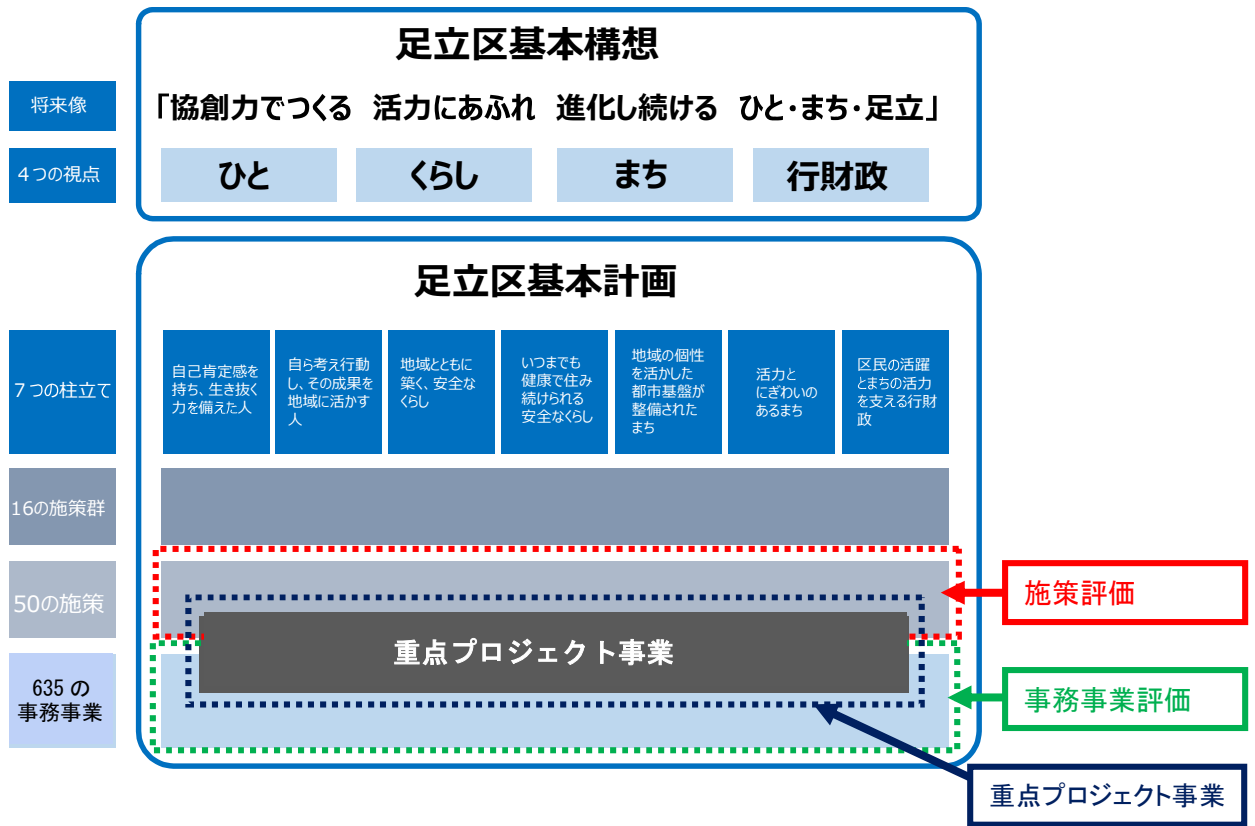
Section 2

行政評価の概要

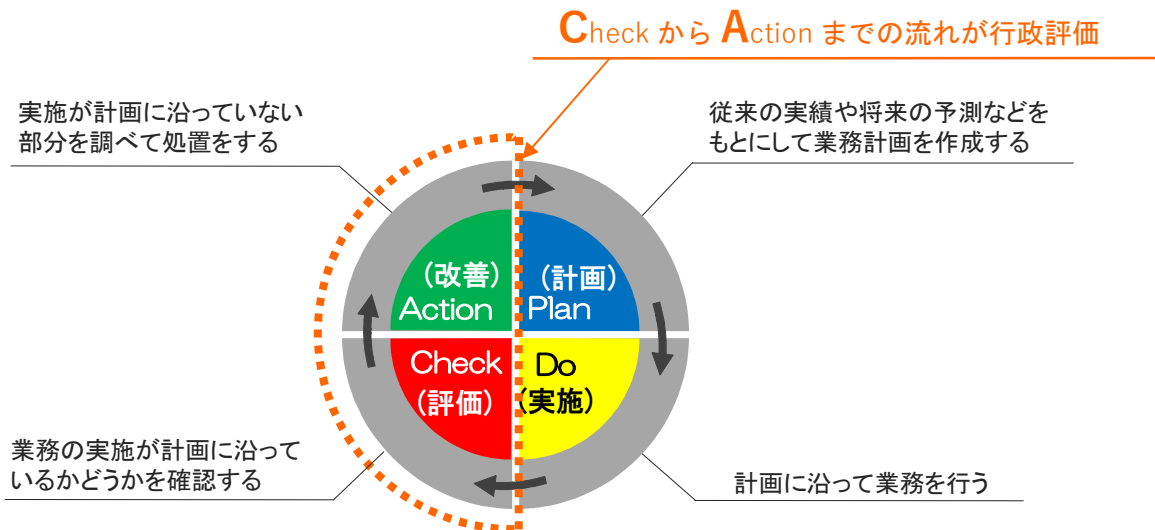
足立区では、行政評価を「行政活動を一定の基準・視点にしたがって定期的に評価し、そこで得られた評価情報を次の計画立案や事業改善へと反映させる一連の作業」と定義づけています。また、その目的として、「区民に対する説明責任を果たし、協働・協創の基礎をつくる」「成果重視の区政への転換を進めるとともに、基本計画の進行管理を行う」「PDCAのマネジメントサイクル(*p. 3参照)を確立し、戦略的な区政経営を行う」「職員の意識改革を進め、政策形成能力を高める」の4つを掲げています。

なお、例年、区民評価委員会は、これらの内容を踏まえ、区長からの諮問により、「重点プロジェクト事業」及び「選定された一般事務事業」を対象に評価しています。

【参考:足立区基本計画・足立区基本構想と行政評価の関係】



【参考:PDCA マネジメントサイクル】

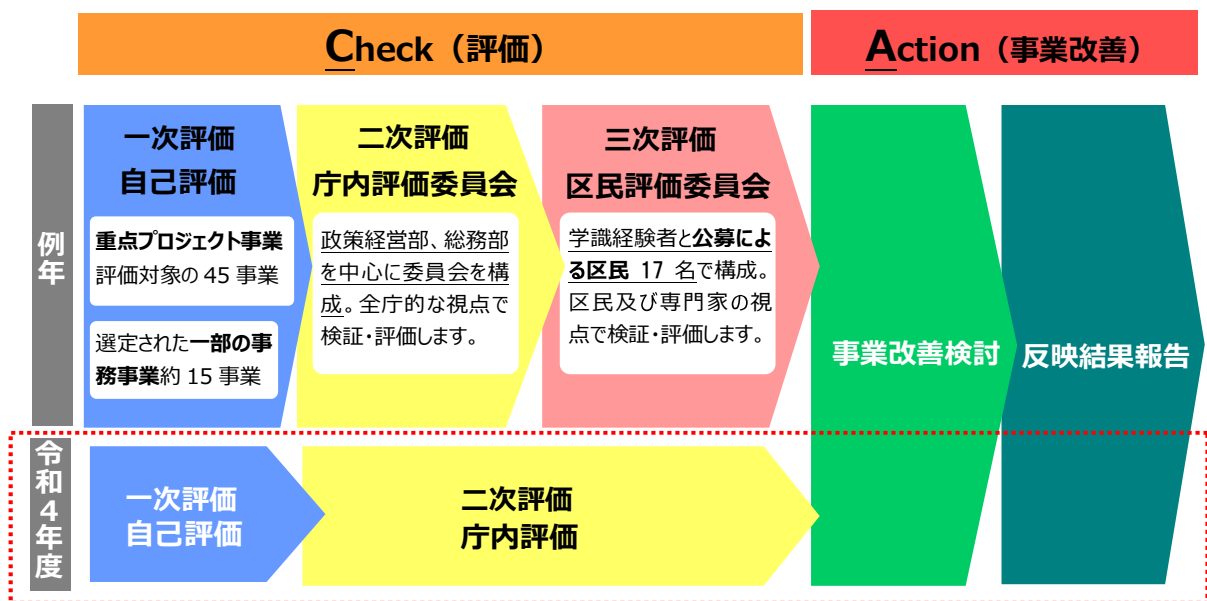


令和4年度の重点プロジェクト事業と選定された事務事業の取り扱い

区民評価（三次評価）が中止となったため、所属の自己評価（一次評価）と庁内評価（二次評価）の評価結果を踏まえてPDCAサイクルによる事業改善に取り組むこととしました。なお、「No.15 感染症対策の充実」は新型コロナウイルス感染症対応を優先するため、評価を実施していません。

また、「重点プロジェクト事業」「選定された事務事業」における各事業の取り組み状況は P.11 以降の評価調書に記載しています。

● 評価から事業改善までの流れ



重点プロジェクト事業と一般事務事業の評価の視点の違い

重点プロジェクト事業と一般事務事業では、その評価の視点に違いがあります。重点プロジェクト事業の評価は、「成果目標に対する達成度の評価」を中心に行い、それを踏まえ、今後の方向性を探ることを目的としています。

一方、一般事務事業の評価は、過去と現在（前年度決算と今年度予算）を踏まえ、予算計上に無駄がないか、効率的手法が担保されているか等、事業予算に対する評価とともに、事業そのものの効果や意義についての評価を実施しています。

重点プロジェクト事業評価と一般事務事業評価では、一見、異なるミッションに思われますが、行政の多種多様な事務事業の評価を推進し、行政評価制度の成果を挙げていくためには、各々の充実を図っていくことが重要です。

Section
5

重点プロジェクト事業の庁内評価結果について

令和4年度の重点プロジェクト事業の庁内評価における5段階評価の平均点は、以下のとおりとなります。

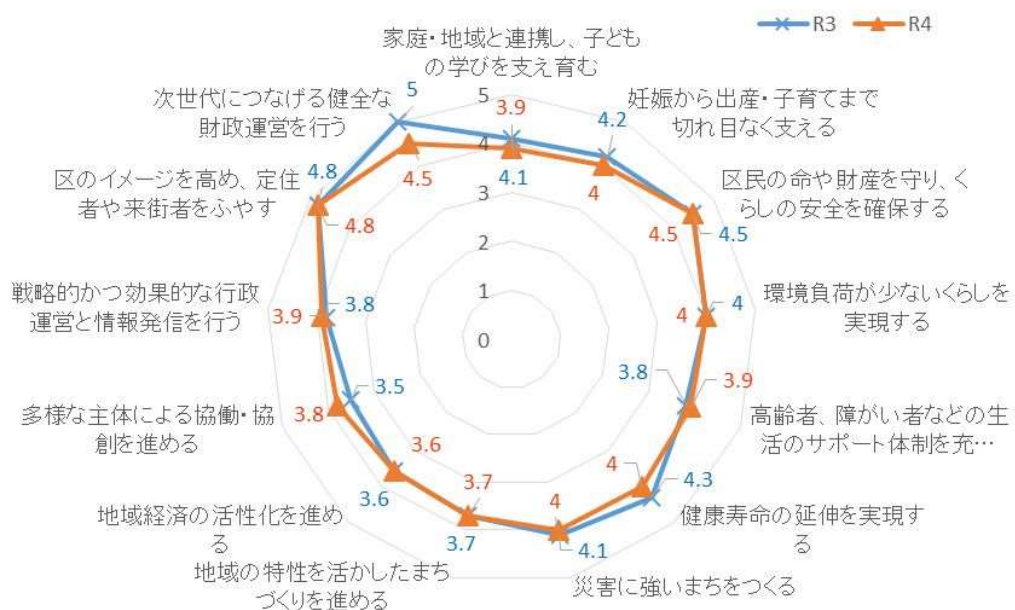
全体評価では、0.06ポイント減となり、視点別では、行財政の0.04ポイントの増以外は、令和3年度比較で減となっています。特に減少幅が大きい「ひと」の視点については、前年度比較で増となった事業がなく、0.5ポイント減となった事業が4つあったことが評価を押し下げた原因となっています。

また、重点目標別の庁内評価の5段階評価平均点数では、概ね令和3年度と比較して同等の評価結果となっていますが、「次世代につなげる健全な財政運営を行う」の項目において0.5ポイントの減となっています。

【重点プロジェクト事業庁内評価の5段階評価平均点数】（「5点」が最高）

| 評価視点 | 令和3年度 (令和2年度実施分) | 令和4年度 (令和3年度実施分) | 差 |
|----------|---------------------|---------------------|------------|
| 視点1【ひと】 | 4.13 | 3.96 | 0.17ポイント ↓ |
| 視点2【くらし】 | 4.13 | 4.05 | 0.08ポイント ↓ |
| 視点3【まち】 | 3.82 | 3.77 | 0.05ポイント ↓ |
| 視点4【行財政】 | 4.06 | 4.10 | 0.04ポイント ↑ |
| 全体評価 | 4.03 | 3.97 | 0.06ポイント ↓ |

【重点目標別の庁内評価の5段階評価平均点数】（「5点」が最高）



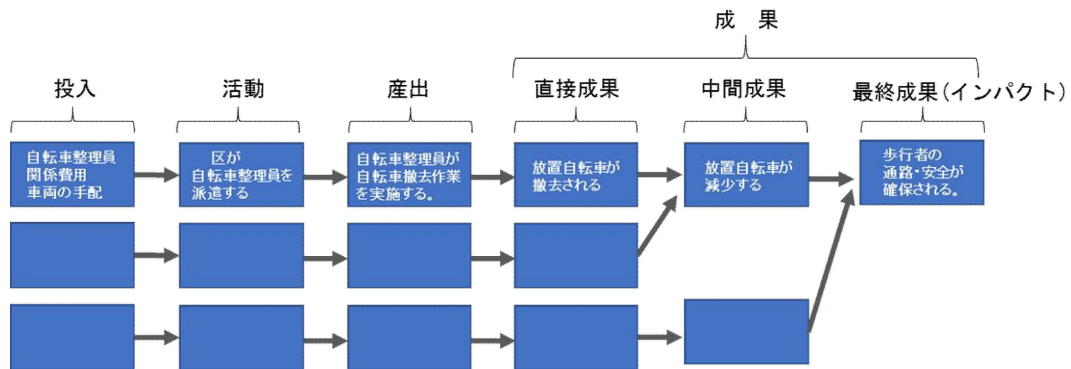
重点プロジェクト事業の成果指標の達成率について

令和4年度の行政評価より、重点プロジェクト事業についてはロジックモデル（※）による評価調書へ様式の見直しを行いました。各事業の成果を測るアウトカムは、初期成果、中間成果、最終成果に分類され、最終成果に近づく程、外部要因の影響（社会的要因や他の施策・事業の成果等）を受けやすくなります。最終成果は、現在の足立区基本計画の策定期間の最終年となる令和6年度の実績に基づき評価することとしているため、各事業の達成率の分析は中間成果にて実施しています。

※【参考】ロジックモデルとは

ロジックモデルを図で例を示すと下図のとおりで、左から予算などの資源の「投入（インプット）」、行政の「活動（アクティビティ）」、財・サービスの「産出（アウトプット）」、社会状態の変化としての「直接成果（直接アウトカム）」「中間成果（中間アウトカム）」「最終成果（最終アウトカム）」の流れを示しています。

つまり、ロジックモデルとは、行政の活動が最終的な成果につながるまでの因果関係を（論理的に）図式化したものです。



(1) 重点プロジェクト事業全体の中間成果の達成率について

令和4年度目標値に対する平均達成率は91.3%になりました（達成率100%以上の指標は100%とし、達成率を測定できない新規指標は除外しています）。

令和4年度の評価よりロジックモデルによる調書を導入し、指標変更や新規設定、成果指標の分類（初期・中間・最終）など、多くの改変を行っているため、単純比較はできませんが、昨年度の平均達成率87.1%と比較して、4.2ポイント増となっています。さらに、視点3「まち」では、昨年度より16.4ポイントと急激な増加となりました。数値が大きく伸びた要因として、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により達成率が著しく低下（例えば、イベントや講座の開催中止、事業の実施見送りによる参加者数の低下など）する一方で、令和3年度は、主に感染症対策を講じた上でのイベントや講座の開催、見送った事業の再開などにより、達成率が伸びたことが挙げられます。

また、区民評価委員会からは、全体として「新型コロナウイルス感染症の影響を見定めた適切な目標値の設定」を求められていました。これを踏まえ、指

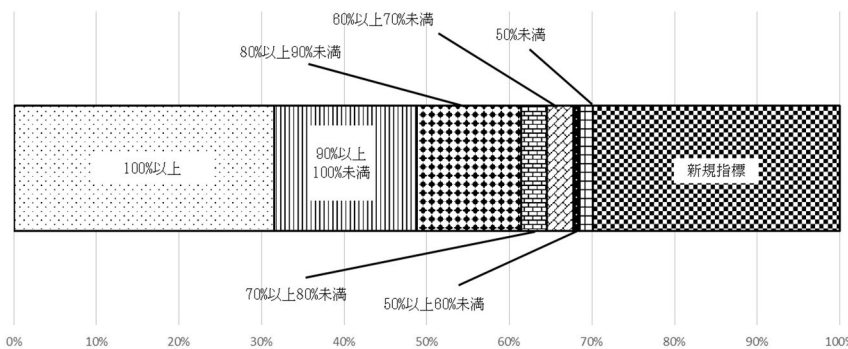
標設定の検討過程において、イベント開催のような新型コロナウイルス感染症の影響を受け易い指標を別の指標に変更するなど工夫を凝らした結果、令和3年度の達成率が上昇傾向にあったことも要因の一つであると考えられます。

しかしながら、達成率が70%未満の事業も一定数存在しているため、原因分析と効果的な対策を講じていくことが求められています。

【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 成果指標の平均目標達成率】

| 視 点 | 平均目標達成率 | | |
|---------|---------------------|---------------------|------------|
| | 令和3年度 (令和2年度実施分) | 令和4年度 (令和3年度実施分) | 差 |
| 視点1 ひと | 88.8% | 89.6% | 0.8ポイント ↑ |
| 視点2 暮らし | 95.0% | 90.9% | -4.1ポイント ↓ |
| 視点3 まち | 78.6% | 95.0% | 16.4ポイント ↑ |
| 視点4 行財政 | 87.6% | 90.5% | 2.9ポイント ↑ |
| 全 体 | 87.1% | 91.3% | 4.2ポイント ↑ |

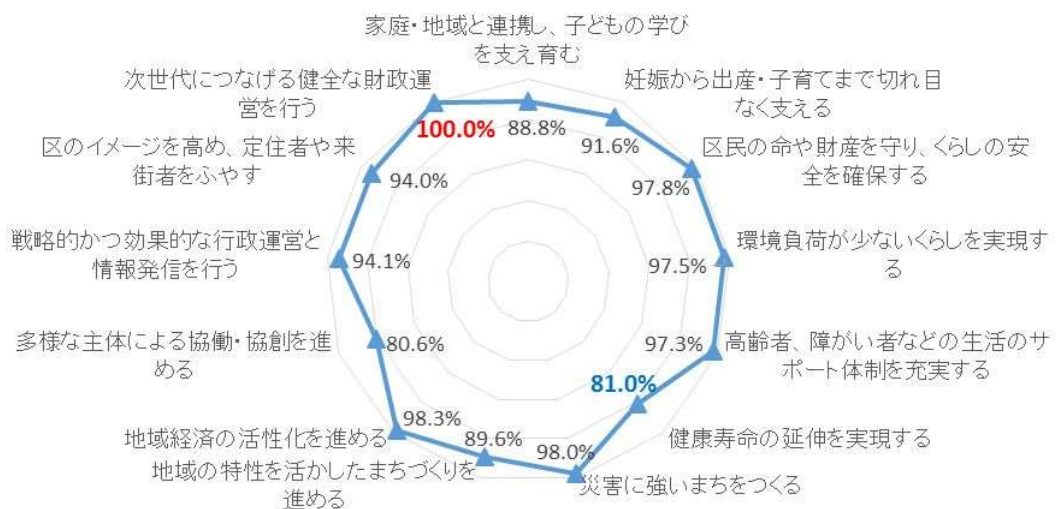
【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 達成率（中間成果指標）の割合別分布状況】



※ () は昨年度

| 達成率 | 指標数 | 比率 |
|-------------|-----------|----------------|
| 100%以上 | 40 (43) | 31.50% (41.0%) |
| 90%以上100%未満 | 22 (27) | 17.32% (25.7%) |
| 80%以上90%未満 | 16 (12) | 12.60% (11.4%) |
| 70%以上80%未満 | 4 (9) | 3.15% (8.6%) |
| 60%以上70%未満 | 4 (6) | 3.15% (5.7%) |
| 50%以上60%未満 | 1 (1) | 0.79% (1.0%) |
| 50%未満 | 2 (7) | 1.57% (6.7%) |
| 小計 | 89 (105) | 70.08% (100%) |
| 新規指標 | 38 (—) | 29.92% (—) |
| 総合計 | 127 (105) | 100% (100%) |

重点プロジェクト事業に係る重点目標別の中間成果平均達成率



(2) 各視点別、重点プロジェクト事業の中間成果の達成率について

各視点別の重点プロジェクト事業の中間成果の達成率についても分析を行いました。新規設定指標につき、達成率の測定ができない指標も多く、参考値となりますが、以下に視点別の算定結果を記載します。

①視点【ひと】

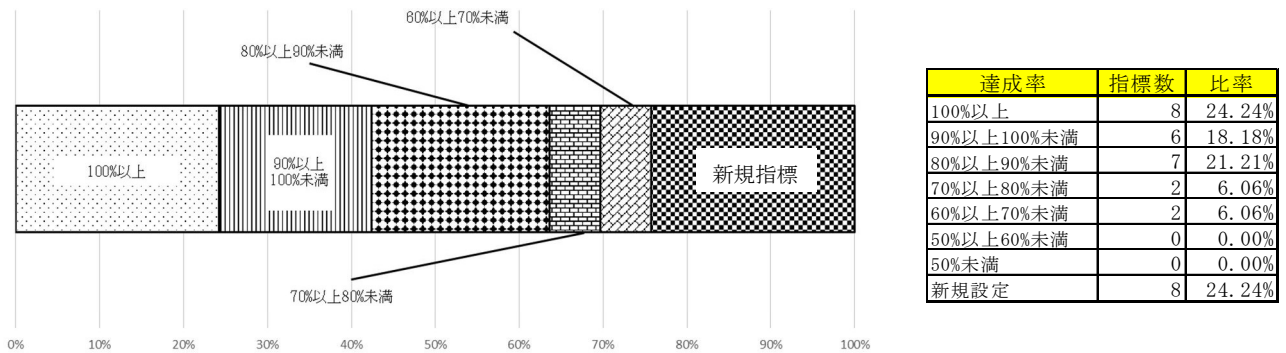
- ・ 重点目標：家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む

【中間成果平均達成率】88.8%

- ・ 重点目標：妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

【中間成果平均達成率】91.6%

【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 達成率（中間成果指標）の割合別分布状況】



②視点【くらし】

- ・ 重点目標：区民の命や財産を守り、くらしの安全を確保する

【中間成果平均達成率】97.8%

- ・ 重点目標：環境負荷が少ないくらしを実現する

【中間成果平均達成率】97.5%

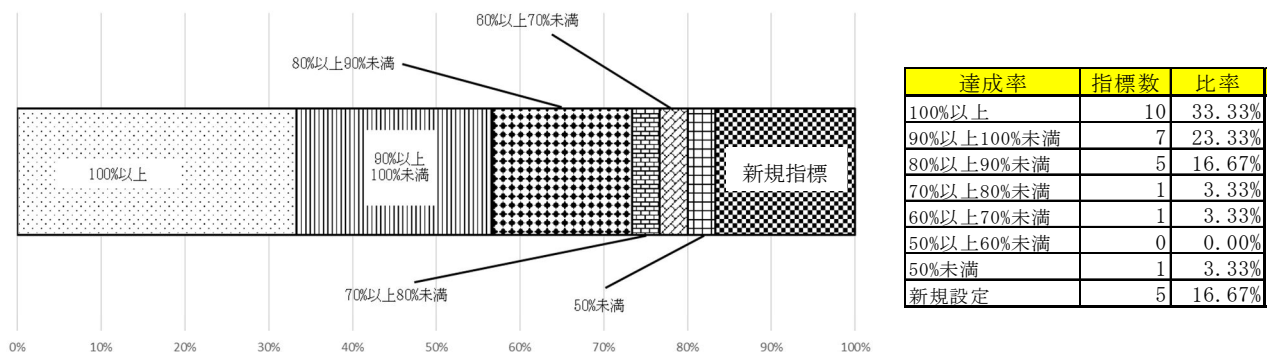
- ・ 重点目標：高齢者、障がい者などの生活のサポート体制を充実する

【中間成果平均達成率】97.3%

- ・ 重点目標：健康寿命の延伸を実現する

【中間成果平均達成率】81.0%

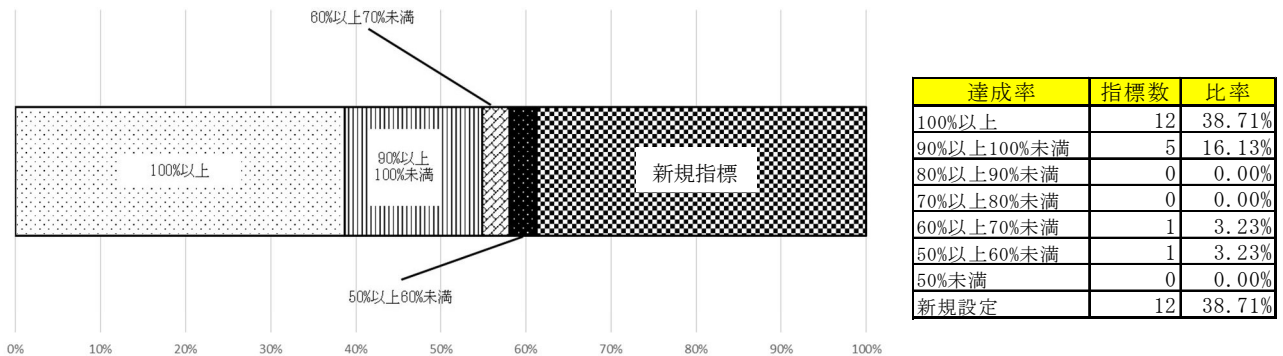
【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 視点2：くらし中間成果指標の達成率の割合】



③視点【まち】

- ・ 重点目標：災害に強いまちをつくる
【中間成果平均達成率】98.0%
- ・ 重点目標：地域の特性を活かしたまちづくりを進める
【中間成果平均達成率】89.6%
- ・ 重点目標：地域経済の活性化を進める
【中間成果平均達成率】98.3%

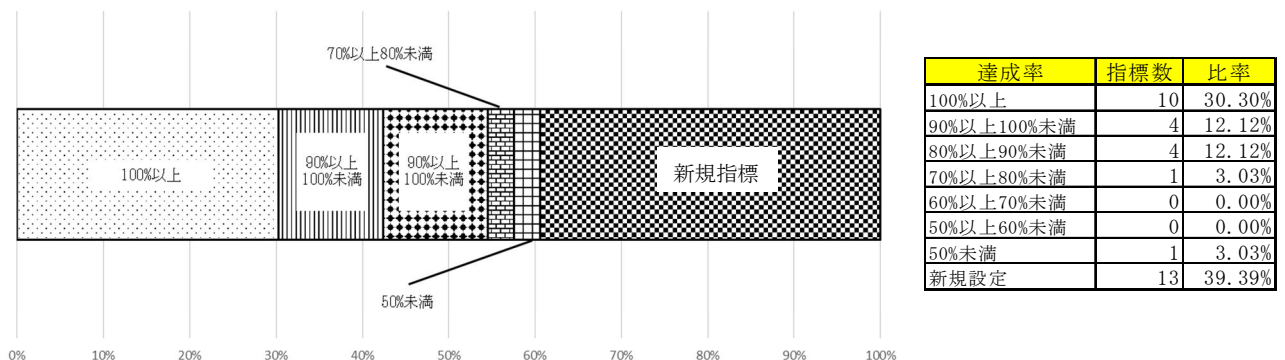
【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 視点3：まち中間成果指標の達成率の割合】



④視点【行財政】

- ・ 重点目標：多様な主体による協働・協創を進める
【中間成果平均達成率】80.6%
- ・ 重点目標：戦略的かつ効果的な行政運営と情報発信を行う
【中間成果平均達成率】94.1%
- ・ 重点目標：区のイメージを高め、定住者や来街者をふやす
【中間成果平均達成率】94.0%
- ・ 重点目標：次世代につなげる健全な財政運営を行う
【中間成果平均達成率】100%

【令和3年度実績 重点プロジェクト事業 視点4：行財政中間成果指標の達成率の割合】



重点プロジェクト事業 中間成果指標の達成状況

| 分野 | 重点目標 | 重点プロジェクト事業名 | 成果指標推移【中間成果】 | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------|--|---------------------------------------|--------|--------|--------|------------|-------------|--------|
| | | | 定義等 | 種別 | R2年度実績 | R3年度実績 | 目標達成率 | 達成状況(所管評価) | 次年度目標(R4年度) | |
| 【ひと】 | 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む | No.1 幼児教育推進事業・家庭教育推進事務 | 小学校と連携活動を実施した就学前施設の割合 | 増加目標 | 85.8 | 55.6 | 63.0% | 順調 | 89% | |
| | | | 体力測定値(テニスボール投げ・立ち幅跳び)が全国平均値を上回った5歳児園児の割合(公立参加園) | 増加目標 | 47.7 | 48.3 | 81.0% | 順調 | 60% | |
| | | | 「早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになった」と回答した方の割合 | 増加目標 | 68.3 | 72.2 | 111.0% | 順調 | 73% | |
| | | No.2 学力向上対策推進事業 | 「学校の授業はわかる」に肯定的な回答をした児童・生徒の割合 | 増加目標 | - | 81.3 | 95.6% | 遅れている | 85 | |
| | | | 「学校の授業は楽しい」に肯定的な回答をした児童・生徒の割合 | 増加目標 | - | 84.2 | - | | 85 | |
| | | | 「勉強は好きだ」に肯定的な回答をした児童・生徒の割合【新規】 | 増加目標 | - | 57.4 | - | | 60 | |
| | | | 「自分から積極的に発言、意見を出し合うことができたと思う」児童・生徒の割合(小中学校) | 増加目標 | - | 69.6 | 102.4% | 順調 | 70 | |
| | | | インターネットや図書等から必要な情報を集めて整理できたと思う児童・生徒の割合(小中学校) | 増加目標 | - | 63.1 | - | | 70 | |
| | | No.3 発達支援児に対する事業の推進 | 発達支援児の支援の程度が軽減もしくは現状維持と判断された児童の割合 | 増加目標 | 90% | 97% | 102.0% | 順調 | 97% | |
| | | | 個別支援計画作成の割合 | 増加目標 | 576件 | 572件 | 75.0% | | 811件 | |
| | | No.4 不登校対策支援事業 | 不登校状態が改善した児童・生徒の割合 | 増加目標 | 41.0% | 40% | 83.0% | 順調 | 55% | |
| | | | 登校サポーター派遣で別室登校支援をし、状況が改善した児童・生徒の割合 | 増加目標 | 67.45% | 68.97% | 92.0% | 順調 | 83% | |
| | | No.5 小・中学校給食業務運営事業(おいしい給食の推進) | 給食の時間が楽しいと感じている区民の割合 | 増加目標 | 79.0% | 78% | 80.0% | 遅れている | 98% | |
| | | | 学校栄養士からみた「あだち食のスタンダード」の定着度 | 増加目標 | 53.0% | 61% | 87.0% | 遅れている | 70% | |
| | | | 1日に必要な野菜の摂取量が両手に山盛り3杯程度と知っている子どもの割合 | 増加目標 | 74.0% | 69% | - | 遅れている | 74% | |
| | | | ごはん、みそ汁、目玉焼き程度の料理を自分で作ることができる子どもの割合 | 増加目標 | 70% | 70% | 78.0% | 遅れている | 100% | |
| | | No.6 子どもへの多様な体験機会の充実 | 「放課後子ども教室に参加して、新たな体験や交流が出来て良かった」と回答した区民の割合 | 増加目標 | - | 74% | 123.0% | 達成 | 60% | |
| | | | 「大学連携事業に参加して、これからも新しいことを知ったりチャレンジしたい」と回答した子どもの割合 | 増加目標 | 90.0% | 87% | 97.0% | 順調 | 90% | |
| | | | 「自然教室に参加して、自信を持つことができた」と回答した区民の割合 | 増加目標 | 75% | 88% | 113.0% | 達成 | 78% | |
| | | 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える | No.7 待機児童ゼロの継続と教育・保育の質の維持・向上 | 待機児童数 | 増加目標 | 0.0% | 1人 | 99.0% | 順調 | 0人 |
| | | | | 文書指摘を受けた施設の割合 | 低減目標 | 17.9% | 31.7% | 88.0% | 遅れている | 28.0% |
| | | | No.8 学童保育室運営事業 | 1年生および2年生の学童保育室待機児童率 | 低減目標 | - | 1.9% | 100.0% | 達成 | 1.5% |
| | | | | 受入可能数が学童保育需要を満たさない地区の数 | 低減目標 | 18地区 | 17地区 | 100.0% | 達成 | 100.0% |
| | | | | 実地調査翌年の事業改善訪問で、全ての課題改善が確認された学童保育室数の割合 | 増加目標 | - | - | - | - | 7.0% |
| No.9 あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業(妊産婦支援事業、こんにちは赤ちゃん訪問事業、3~4か月児健診事業) | 3~4か月児健診時アンケートで「子育てを不安に感じたりイライラしたりする」と答えた割合 | | 低減目標 | 4.6% | 5.2% | 87.0% | 要検討 | 5% | | |
| | ファーストバースtepサポートのアンケートで「感情的に叩いたり怒鳴ったりしたことがある」という設問に「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」と答えた割合 | | 低減目標 | - | 30.3% | 125.0% | 達成 | 30.0% | | |
| | 日曜ファミリー学級時アンケートで「夫婦で協力して子育てに取り組むイメージが湧いた」という設問に「強くそう思う」「ややそう思う」と答えた割合 | | 増加目標 | - | - | - | - | 95.0% | | |
| No.10 子育てサロン事業 | 宿泊型産後ケアのアンケートで「産後ケアを利用したことで不調や不安は改善されたか」という設問に「改善された」「概ね改善された」と答えた割合 | | 増加目標 | - | - | - | - | 95.0% | | |
| | 利用者アンケート実施による利用者満足度 | | 増加目標 | 96.0% | 86.0% | 90.0% | 順調 | 96.0% | | |
| No.11 養育困難改善事業(児童虐待対策等) | 児童虐待待解決室 | | 増加目標 | 66.0% | 65% | 81.0% | 遅れている | 80% | | |
| | 区内児童人口に対する虐待発生率 | 低減目標 | 9.18‰ | 9.41‰ | 96.0% | 順調 | 9‰ | | | |
| No.12 ひとり親家庭総合支援事業 | 相談後に気持ちが前向き・プラスになった人の割合 | 増加目標 | - | - | 67.0% | | 70% | | | |
| | ひとり親家庭向け就労支援事業を活用して正規就労につながった人数 | 低減目標 | - | 7% | - | | 20% | | | |

重点プロジェクト事業 中間成果指標の達成状況

| 分野 | 重点目標 | 重点プロジェクト事業名 | 成果指標推移【中間成果】 | | | | | | |
|--------------|---------------------------|--|--|--------|----------|----------|--------|------------|-------------|
| | | | 定義等 | 種別 | R2年度実績 | R3年度実績 | 目標達成率 | 達成状況(所管評価) | 次年度目標(R4年度) |
| 【くらし】 | 区民の命や財産を守り、くらしの安全を確保する | No.13ビューティフル・ウィンドウズ運動(地域防犯力の向上) | 区内刑法犯認知件数 | 低減目標 | 3,693件 | 3,212件 | 114.0% | 順調 | 2,999件 |
| | | | ビューティフル・ウィンドウズ運動の取り組みを知っている人の割合 | 増加目標 | 45.8% | 44.5% | 89.0% | 遅れている | 50.0% |
| | | No.14ビューティフル・ウィンドウズ運動(美化推進事業・生活環境保全対策事業) | ごみがなく地域がきれいになったと感じる区民の割合 | 増加目標 | — | 58.0% | 117.0% | 達成 | 50% |
| | | | ごみ屋敷(樹木等除く)の累計解決率 | 低減目標 | 82.8% | 84.2% | 105.0% | 順調 | 80.0% |
| | | | 区内刑法犯認知件数(自転車盗難件数を含む) | 低減目標 | 3,693件 | 3,212件 | 114.0% | 順調 | 2,999件 |
| | No.15感染症対策の充実 | コロナ対応最優先のため、評価未実施 | | | | | | | |
| | 環境負荷が少ないくらしを実現する | No.16エネルギー対策の推進(温室効果ガス排出削減) | 区内のエネルギー使用量 | 低減目標 | 23,175TJ | 22,772TJ | 101.0% | 順調 | 21,720TJ |
| | | | 区内の再生可能エネルギーの導入量 | 増加目標 | 38,561Kw | 39,681Kw | 105.0% | 順調 | 40,125Kw |
| | | No.17ごみの減量・資源化の推進 | 区内のごみ量(燃やすごみ+燃やさないごみ+粗大ごみ) | 低減目標 | 138,012t | 134,000t | 93.0% | 遅れている | 123,000t |
| | | | 資源化率 | 増加目標 | 19.98% | 19.79% | 97.0% | 遅れている | 20.9% |
| | 高齢者、障がい者などの生活のサポート体制を充実する | No.18地域包括ケアシステムの推進 | 地域包括支援センターの認知度《予防・生活支援》 | 増加目標 | 67.2% | 67.7% | 96.7% | 順調 | 70% |
| | | | 体力測定会で移動機能(下肢筋力)低下と判定されなかった人の割合 | 増加目標 | 26 | 30 | — | 要検討 | 35% |
| | | | 居宅療養管理指導の利用件数《医療・介護》 | 増加目標 | 12,093件 | 13,226件 | — | 要検討 | 14,000件 |
| | | | あだちお部屋さがしサポート「寄り添いお部屋紹介」を通じて、住まいの確保につながった高齢者の割合《住まい》 | 増加目標 | — | 65.6% | 131.2% | 達成 | 65% |
| | | No.19介護予防事業(パークで筋トレ・ウォーキング教室、はつらつ教室、はじめてのフレイル予防教室) | 体力測定会で移動機能(下肢筋力)低下と判定されなかった人の割合【No.18再掲】 | 増加目標 | 26.0% | 30.0% | — | — | 35.0% |
| | | | 自主グループ立ち上げ件数 | 増加目標 | 0.0% | 1.0% | — | — | 25.0% |
| | | No.20孤立ゼロプロジェクト推進事業 | 孤立状態から地域社会や支援につながった世帯数 | 増加目標 | 4,396世帯 | 4,630世帯 | 105.0% | 達成 | 4,800世帯 |
| | | | 「孤立ゼロプロジェクトの取組を知っている」と回答した人の割合 | 増加目標 | 26.7% | 26.3% | 88.0% | 遅れている | 30.0% |
| | | No.21生活困窮者自立支援事業 | 就労等決定者数 | 増加目標 | 156人 | 168人 | 99.0% | 順調 | 170人 |
| | | | 中学3年生の進学決定者数 | 増加目標 | 73人 | 96人 | 120.0% | 達成 | 100人 |
| 健康寿命の延伸を実現する | No.22データヘルス推進事業 | データヘルス計画で設定した成果指標の達成割合(前年度の目標値) | 増加目標 | 41.2% | 41.2% | 43.4% | 遅れている | 100.0% | |
| | | メタボリックシンドロームと判定される人の割合(5月末時点) | 低減目標 | 24.6% | 23.8% | 84.1% | 遅れている | 20.0% | |
| | | 国保加入者の人工透析有病率(対東京都)(5月末時点) | 低減目標 | 200.0% | 166.7% | 60.0% | 遅れている | 100.0% | |
| | | 6歳臼歯にむし歯がある児童の割合(小学3年生) | 低減目標 | 9.10% | 9.10% | 94.5% | 遅れている | 8.60% | |
| | | 6歳臼歯にむし歯がある児童の割合が10%以上の学校数(小学3年生) | 低減目標 | 22.0% | 25.0% | 76.0% | 遅れている | 19.0% | |
| | No.23健康あだち21推進事業(糖尿病対策) | 糖尿病を主病とした年間新規誘導導入患者数 | 増加目標 | 57人 | 67人 | 82.0% | 遅れている | 250g/日 | |
| | | ヘモグロビンA1c7%以上の割合 | 低減目標 | 5.91% | 5.35% | 82.0% | 遅れている | 4.40% | |
| | | 自分を健康だと自認している割合 | 低減目標 | 64.8% | 66.0% | 94.0% | 順調 | 70.0% | |
| | No.24こころといのちの相談支援事業 | 「つなぐ」シートの利用者のうち自死に至らなかった者の割合 | 増加目標 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 達成 | 100% | |
| | | 研修受講者で自殺対策の理解が深まった人の割合 | 増加目標 | 83.8% | 84.9% | 94.3% | 順調 | 90% | |
| | | 授業を受けて今度は相談しようと思った児童・生徒の割合 | 増加目標 | 71.0% | 70.0% | — | 順調 | 75.0% | |

重点プロジェクト事業 中間成果指標の達成状況

| 分野 | 重点目標 | 重点プロジェクト事業名 | 成果指標推移【中間成果】 | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--|--|-------------------------------|---------|---------|--------|------------|-------------|--------|
| | | | 定義等 | 種別 | R2年度実績 | R3年度実績 | 目標達成率 | 達成状況(所管評価) | 次年度目標(R4年度) | |
| 【まち】 | 災害に強いまちをつくる | No.25 震災に対する防災力向上事業(防災訓練・防災計画) | 災害に備えて水や食料、防災用具等の備蓄をしている区民の割合 | 低減目標 | 73% | 73% | 97.0% | 順調 | 75% | |
| | | | 自分の地域の所、避難場所、第一次避難所と、それぞれの意味を知っている区民の割合 | 増加目標 | 61.0% | 61.0% | - | | 63.0% | |
| | | | 区の防災対策の取り組みに満足している区民の割合 | 増加目標 | 59.0% | 58.0% | - | | 60.0% | |
| | | No.26 地域と一体となった水害対策 | 災害に備えて水や食料、防災用具等の備蓄をしている区民の割合 | 増加目標 | 73% | 73% | 97.0% | 順調 | 75% | |
| | | | 河川がはん濫する恐れがある場合、「避難所以外で避難する場所を事前に決めている」区民の割合 | 増加目標 | 62.0% | 61.0% | 94.0% | 順調 | 65.0% | |
| | | | 区の防災対策の取り組みに満足している区民の割合 | 増加目標 | 59.0% | 58.0% | - | | 60.0% | |
| | | No.27 震災や火災などに強いまちづくりの推進 | 重点的に取組む密集市街地の不燃領域率 | 増加目標 | 62.0% | 63.0% | 98.0% | 順調 | 65.0% | |
| | | | 老朽家屋の危険解消数 | 増加目標 | 107.0% | 72.0% | 160.0% | 順調 | 45.0% | |
| | | | 住宅の耐震化率 | 増加目標 | 91.0% | 93.0% | 100.0% | 順調 | 94.0% | |
| | | No.28 交通環境の改善事業(都市計画道路及びバス・自転車走行環境の整備) | 都市計画道路整備の進捗率 | 増加目標 | 34.0% | 34.0% | 100.0% | 達成 | 34.0% | |
| | | | はるかぜ利用者数(12路線計)の対前年度比減少率 | 増加目標 | ▲32.5 | 6.5% | - | 順調 | ▲4% | |
| | | | 自転車関連事故件数 | 増加目標 | 701件 | 751件 | - | 遅れている | 700件 | |
| | 地域の特性を活かしたまちづくりを進める | No.29 緑を守り、育む人づくり事業 | この1年間で緑化活動に参加した区民の割合 | 増加目標 | 13.5% | 17.3% | 115.0% | 達成 | 16.8% | |
| | | | 緑化助成件数(令和2年度からの累計) | 増加目標 | 16件 | 23件 | 58.0% | 遅れている | 60件 | |
| | | | 保存樹林指定箇所数 | 増加目標 | 26箇所 | 27箇所 | 100.0% | 順調 | | |
| | | | 特定生産緑地面積 | 増加目標 | 14.26ha | 20.69ha | 163.0% | 達成 | 21.14件 | |
| | | No.30 公園等の整備事業(パークイノベーションの推進等) | 役割分担に基づいて整備された公園数の累計 | 増加目標 | 51園 | 55園 | 69.0% | 遅れている | 90園 | |
| | | | 協働・協創の基つき実施したイベント参加者数 | 増加目標 | - | 13,923人 | - | 順調 | 15,835人 | |
| | | | 情報発信の関連部署との連携回数 | 増加目標 | - | 8回 | - | 順調 | 18回 | |
| | | No.31 自然環境・生物多様性の理解促進事業 | 自然や生き物を大切にしようと思った区民の割合(アンケート) | 増加目標 | 96% | 97% | 102.1% | 達成 | 95% | |
| | | | 生物多様性について理解が深まったと回答した区民の割合(アンケート) | 増加目標 | 86.0% | 92.0% | 102.2% | 達成 | 90.0% | |
| | | | 環境学習が行動変容につながった児童数 | 増加目標 | - | 2,079人 | - | - | 4,400人 | |
| | | 地域経済の活性化を進める | No.32 創業支援事業(産学金公ネットワークによる起業・創業支援) | 密接にコミュニケーションが取れる事業者仲間がいる割合 | 増加目標 | - | - | - | 要検討 | 70% |
| | | | | 創業支援事業支援終了時に事業として成立している事業者の割合 | 増加目標 | 94.0% | 100.0% | 100.0% | 達成 | 100.0% |
| No.33 販路拡大支援事業(区内産業・製品のPR) | バイヤーなどの訪問件数 | | 増加目標 | 195件 | 697件 | 134.0% | 達成 | 970件 | | |
| | ECサイトアクセス数 | | 増加目標 | - | 47,999件 | 150.0% | 達成 | 70,200件 | | |
| | 相談支援により経営課題が解決した事業者数 | | 増加目標 | - | 1,314者 | 91.3% | - | 1,520者 | | |
| No.34 就労支援・雇用安定化事業(区内企業の人材確保支援等) | マンスリー就職面接会で必要とする人材を確保できた企業数 | | 増加目標 | 0社 | 24社 | - | - | 48社 | | |
| | 区内中小企業人材確保支援事業登録事業者向けアンケートでシニアの利活用の意欲が高まったと回答した企業数 | | 増加目標 | - | - | - | - | 55社 | | |
| No.35 ワーク・ライフ・バランスの推進事業 | 区民のWLB取組の進捗度 | | 増加目標 | - | - | - | - | 40.0% | | |
| | 足立区WLB認定企業数の新規件数 | 増加目標 | 15.0% | 12.0% | 120.0% | 達成 | 10.0% | | | |

重点プロジェクト事業 中間成果指標の達成状況

| 分野 | 重点目標 | 重点プロジェクト事業名 | 成果指標推移【中間成果】 | | | | | | |
|-------|------------------------------------|-----------------------------|--|--------------------------|--------|--------|--------|------------|-------------|
| | | | 定義等 | 種別 | R2年度実績 | R3年度実績 | 目標達成率 | 達成状況(所管評価) | 次年度目標(R4年度) |
| 【行財政】 | 多様な主体による協働・協創を進める | No.36町会・自治会、NPOの活性化支援事業 | 町会・自治会加入世帯率 | 増加目標 | 48.3% | 47.5% | 79.0% | 遅れている | 60% |
| | | | NPO活動支援センター登録団体数 | 増加目標 | 191団体 | 218団体 | 112.0% | 達成 | 200.0% |
| | | | 地域人材養成講座受講後1年以内に活動を始める計画のある人の割合 | 増加目標 | 68.0% | 65.0% | 81.0% | 遅れている | 80.0% |
| | | | 公益活動げんき応援事業助成金採択事業に従事した人数 | 増加目標 | — | 825人 | 103.0% | 達成 | 800人 |
| | | No.37協創推進体制の構築 | 協創の取組を実践している区民の割合 | 増加目標 | 4.0% | 5.0% | 33.0% | 遅れている | 15.0% |
| | | | 企業、NPO団体、プラットフォーム参加者等と連携して行った事業数 | 増加目標 | — | 8事業 | — | 要検討 | 10事業 |
| | | | 地域人材養成講座受講後1年以内に活動を始める計画のある人の割合 | 増加目標 | 68.0% | 65.0% | 81.0% | 遅れている | 80.0% |
| | | | コーディネート意識の必要性を理解した研修受講職員の割合 | 増加目標 | — | — | — | 要検討 | 60.0% |
| | | No.38大学連携コーディネート事業 | 参加者満足度 | 増加目標 | 4.3点 | 4.5点 | 90.0% | 順調 | 5点 |
| | | | 大学連携事業を知っている区民の割合 | 増加目標 | — | — | — | — | 20.0% |
| | | | 大学連携事業に参加したいと答えた区民の割合 | 増加目標 | — | — | — | — | 15.0% |
| | | 戦略的かつ効果的な行政運営と情報発信を行う | No.39ICTを活用した区民サービスおよび業務効率の向上 | 押印廃止済の事業に占めるオンライン申請搭載の件数 | 増加目標 | — | — | — | — |
| | オンライン相談の利用件数 | | | 増加目標 | — | 425人 | — | — | 470人 |
| | 効率化して新たに生み出した時間(=シナリオ稼働時間) | | | 増加目標 | — | — | — | — | 1,200時間 |
| | No.40組織能力の向上と組織風土の改善 | | 事故・ミス、懲戒処分の件数 | 低減目標 | — | 155件 | 124.0% | 遅れている | 85% |
| | | | 来庁者アンケートにおける職員の接客態度に対する評価の平均点 | 増加目標 | 86点 | 92点 | 102.0% | 達成 | 90点 |
| | No.41人材育成事務(職員研修事業、職員の能力を活かす人事) | | 区面接における合格者平均点 | 増加目標 | 260点 | 262点 | — | — | 275点 |
| | | | 集合研修により、職務に対する意欲が向上した職員数 | 増加目標 | — | 5,665人 | — | — | 5,700人 |
| | | | 職場研修やジョブローテーションを通じて自己成長を感じた職員の割合 | 増加目標 | — | — | — | — | 75.0% |
| | No.42広聴機会の充実と区政への反映 | | 世論調査について、「区民のニーズや意識を把握する上で有効である」と回答した区民の割合 | 増加目標 | 64.0% | 68.0% | 97.1% | 順調 | 70.0% |
| | | | 区政モニターアンケートについて、「区民ニーズや意識を把握する上で有効である」と回答した区民の割合 | 増加目標 | 92% | 82% | 91.1% | 順調 | 90% |
| | | | 区民の声に対する満足度 | 増加目標 | 72% | 66% | 82.5% | 遅れている | 80% |
| | | | パブリックコメントの意見を計画案や条例案に反映した件数 | 増加目標 | 15% | 11% | — | 遅れている | 13% |
| | 区のイメージを高め、定住者や来街者をふやす | No.43シティプロモーション事業 | 足立区を人に勧めたいと思う区民の割合 | 増加目標 | 50.5% | 44.4% | 81.8% | 遅れている | 55.0% |
| | | | 足立区をよいまちにするために何かしたいと思う区民の割合 | 増加目標 | 54.0% | 51.7% | 94.0% | 遅れている | 56.0% |
| | | | 足立区をよいまちにするために何かの行動をした区民の割合 | 増加目標 | — | 30.5% | 203.3% | 達成 | 32.0% |
| | | | 足立区のイメージが「良い」と感じる区外在住者の割合 | 増加目標 | — | 22.1% | — | 要検討 | 25.2% |
| | No.44情報発信強化事業(各種広報媒体の充実・情報発信力の向上等) | 情報を伝えることに対する意識が変わった職員の件数 | 増加目標 | 73.9% | 76.1% | 101.0% | 達成 | 76.0% | |
| | | 足立区をよいまちに何かしたいと思う区民の割合 | 増加目標 | 12.5% | 10.6% | — | — | 10.0% | |
| | 次世代につなげる健全な財政運営を行う | No.45.4公金収納金の収納率向上対策(税・保険料) | 特別区民税収納率 | 増加目標 | 96.59% | 96.96% | 101.0% | 達成 | 97.20% |
| | | | 国民健康保険料収納率 | 増加目標 | 77.33% | 79.83% | 105.0% | 達成 | 81.04% |
| | | | 後期高齢者医療保険料収納率 | 増加目標 | 98.41% | 98.73% | 101.0% | 達成 | 98.98% |
| | | | 介護保険料収納率 | 増加目標 | 95.50% | 96.26% | 100.0% | 達成 | 96.51% |